

ゴリラから 学んだ 人間社会の由来

参加無料
要申込み
[先着順]

人間の体や心は今、科学技術によって作られた環境とミスマッチを起こしている。確かな未来を見通すためには人間社会の由来を振り返る必要がある。それは人間を生んだアフリカ大陸に今も生き続ける野生のゴリラが教えてくれる。

日時 2018年9月28日(金)
15:00~16:30

講師 山極 壽一 京都大学総長

会場 名古屋外国語大学 5号館1階 511教室

主催 名古屋外国語大学
ワールドリベラルアーツセンター

対象 どなたでもご参加いただけます。

講師

山極 壽一氏 やまぎわ じゅういち

Profile

1952年東京生まれ。京都大学理学部卒、理学博士。(財)日本モンキーセンター研究員、京都大学霊長類研究所助手、同大学院理学研究科教授を経て、現在京都大学総長。1975年より屋久島で野生ニホンザルの調査を始め、1978年よりアフリカ各地でゴリラの野外研究に従事。霊長類の行動や生態をもとに初期人類の生活を復元し、人類に特有な社会特徴の由来を探っている。1980年代から屋久島で野外博物館事業、コンゴ民主共和国ではゴリラと人との共生を目指したNGO ホレボレ基金を推進している。最近ではガボンではJST/JICAの地球規模課題対応国際科学技術協力「野生生物と人間の共生を通じた熱帯林の生物多様性保全」事業を担った。著書に、『サルと歩いた屋久島』（山と溪谷社）、『ゴリラの森に暮らす』（NTT出版）、『ジャングルで学んだこと』（フレーベル館）、『ゴリラ』（東京大学出版会）、『暴力はどこからきたか』（NHKブックス）、『家族進化論』（東京大学出版会）、『ゴリラは語る』（講談社）、『京大式おもしろ勉強法』（朝日新書）、『ゴリラは戦わない』（共著、中公新書ラクレ）、『都市と野生の思考』（共著、インターナショナル新書）、『日本の人類学』（共著、ちくま新書）、『ゴリラに学ぶ』（共著、ミネルヴァ書房）、『ゴリラからの警告』（毎日新聞出版）など。

■ 申込み方法

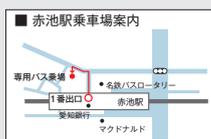
本イベントは申込み先着順となります。定員に達した場合、お断りをさせていただきます。お早めの申込みをお願い致します。右記のQRコードを携帯電話やスマートフォンで読み込んで頂くか、下記URLをパソコン等で直接入力して、申込みのフォームに必要な事項を入力、送信してください。

<https://req.qubo.jp/wlac/form/20180928>



■本学へのアクセスについて■

当日、駐車場はありませんので公共交通機関または上社駅、赤池駅からの専用バス(無料)をご利用ください。専用バスにご乗車の際は、イベントに参加する旨を運転手にお伝えください。



問合せ先

名古屋外国語大学 0561-75-2164
ワールドリベラルアーツセンター wlac_gg@nufs.ac.jp



本イベントにおける写真撮影や録音はご遠慮いただきますよう、お願い申し上げます。会場では腕章を付けたカメラマンが記録用の写真撮影を行っています。本学ウェブサイトやその他の刊行物に、写真が掲載されることがありますのでご了承ください。